

華岳山恩林寺発行



令和5年8月号

顛陀袋 734



写真：平城宮跡と奈良大文字の送り火



お寺へ行こう 和尚さんと友だちになろう

中山かんのん  華岳山 恩林寺

中山中学校下

☎506-0052 岐阜県高山市下岡本町2779

✉kagakuzan@onrinji.com ☎(0577)34-1245



<https://onrinji.com/>

お盆のいわれ

お釈迦様の十大弟子の一人、
目連尊者は六神通を得て、神通
第一と言われておりました。

ある時、目連は亡くなった母親が
どうしているかと、天眼通力を使
つて調べてみると、なんと餓鬼界
に落ちて苦しんで

いるのがわかりました。



目連

何とか助けてあげたいが目連の
力ではどうすることもできません。
「お釈迦様。私の母は私にはなく
てはならない人で私をかわいがつ
てくれました。それなのに、亡く

なつた後、このような仕打ちを受
けるとはなにかの間違いではない
でしょうか？」

「目連よ。お前の母は、お前が可
愛いばかりに知らず知らずの間
に罪を犯してきたのだ。これを救
うのは多くのお坊さんの力に頼
るしかない。雨安居最後の日、七
月十五日に餓鬼道に落ちて苦し
む者のために多くの様々なお供
え物をしてお坊さんによる盂蘭
盆の法要を営みなさい。現在の
父母、過去七生の父母、兄弟、

夫婦の六種の親属、地獄、餓鬼、
畜生の三悪道の苦しみから出る
ことができ、時がくれば迷いから
離れ、衣食に困ることはないだろ
う。もし両親が健在の
人であれば、末永く
幸せに暮らせるだろう。」



すぐさまお釈迦様の教えの通り
ご供養をすると目連の母は苦し
みの餓鬼界から救われました。

「お釈迦様。先祖、父母の恩を忘
れずに供養することの大切さが
よくわかりました。もし後世のす
べての仏弟子や、親孝行をする人
も、またこの盂蘭盆を奉じて、

現在の父母、過去七生の父母
までを救うべきでしょうか？」

「目連よ、ここにいるみな達よ。

七月十五日に親孝行な心で自分
を生んでくれた父母、過去七生
で生んでくれた父母のために、仏
や僧侶に布施をすることによって、
両親が長らく育ててくださった
愛情のご恩に報いなさい。」
と説かれたのです。

こうしたことが仏説盂蘭盆経と
いうお経にかかれています。

二千五百年前の昔の話が、今で
も通用するのは人類普遍の教え
であるからと言えるでしょう。

お盆の行事は七月十五日に行う
ところもありますが今は概ね

八月となっており、都会に出た人
や田舎が故郷である

人たちは、国内
大移動をして

お盆を迎えます。

各お寺ではお盆供養や説教師を

お招きして法話を頂きます。

さて、お盆の間、ご先祖様は家に

帰っておられるのだからお墓は留

守でしょう。などと疑問が湧くか

もしれません。もちろんお墓はカ

ラではありません。ご先祖はどち

らにもおいでになります。お盆は



ご先祖様を大切にすると同時に
久しぶりの

親族再会、

子供や孫たちの

元気な姿を喜ぶのも

最大の供養と言えるでしょう。

お施餓鬼法要の御礼

六月二十五日、黄檗宗十八教区
の和尚様はじめ宗猷寺和尚様の
ご随喜を頂き、滞りなく法要が
勤まりました。

参詣者及び関係者のみなさま心
より御礼申し上げます



住職合掌

小僧さんの



【第二章 五節】夏休み

お盆の時期を迎え、雲水も出身寺院で棚経廻りを行います。
たなぎょう

しかし萬福寺での棚経廻りもあるため、私と同夏(同期)・先輩の各1名が本山に残ることになりました。三人で壇信徒さんの各家に事前に訪問する時間をお伝えして計画を立てました。

しかし、そんな時に限って悲しい出来事が起こります。残るはずの同夏の師匠が亡くなられてしまったのです。急遽、その同夏は

帰郷することになり、私と先輩

だけが残されました。さあ、ここ

からが大変。三人でやっと廻りき

れる計画でしたので、帰った同夏

の分をどうすべきか悩みました。

先輩はとても温かく、同夏の分の

殆どを私に任せっぱなしとなり

ました。

そのお陰で私の



スケジュールは大変厳しく…。

さらに、いつもなら同夏で分担し

て行う作業も私一人の肩に重く

押し掛かってきました。

毎朝お堂の門を開け、先輩を

起こし、朝食(粥)を作り…。

棚経廻りから帰った後は清掃等

や、就寝前の太鼓など…一人で

行くと普段の生活がとても有難

く感じました。その後、私達にも

暫暇ざんか(帰郷期間)が与えられま

す。高山へ帰省し、親族や和尚と

再会し、元気な姿に一安心。

しかし私の夏休みは一日だけ。

故郷を離れる寂しさや修行生活

が再開する辛さが混じりあい、

涙を流しながら、

本山へ向かうのでした。



華岳山 忍林寺

住職 古田 正彦

新堂 小森 鳳雅

